



区を豊かに

2021年
9月5日発行
第36号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 大谷 一男
編集 新潟市西区自治協議会 広報紙特別部会
事務局 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽をのせました。

ずんずん歩こう 新潟電鉄跡地の遊歩道が完成



関屋分水路左岸・関屋大橋から見た上流側の風景。信濃川と関屋分水路の分岐や信濃川水門、奥には五頭の山々を見ることが出来ます。関屋分水路は新潟港の水深の維持と、信濃川の氾濫から守るために、昭和47年に通水。来年通水50年を迎えます。

青山から大野町地区を結ぶ6.3km

7月15日、西区に新しい遊歩道(自転車歩行者専用道路)が完成しました。コースは青山から大野町地区を結ぶ6.3km。かつて新潟市の白山前駅と燕市の燕駅とを結んでいた、新潟交通の電車線(新潟電鉄)の跡地を活用したものです。交通量が多く、歩道のない道路が多かったことから、平成19年から安全で快適な遊歩道の整備が進められ、この7月に最後の整備区間である善久の170mが開通。全コースが完成しました。

遊歩道は見どころがいっぱい

旧駅名表示をたどりながら、川を渡り、跨線橋をくぐり、築堤や古い橋げたなどを眺めながら、電鉄の名残に思いをはせたり、西川排水機場・西川水門やおぞらギャラリーなどの施設にも触れることができる魅力的なコースとなっています。ずんずん歩いて、電鉄跡地の遊歩道を楽しみませんか？

西川排水機場・西川水門

西川の水を強制排水する西川排水機場と信濃川からの逆流を防止する西川水門。平成10年の集中豪雨では、ポンプの処理能力を超え、大変な被害をもたらしました。この水害をきっかけに、排水能力を毎秒65立方mに増強することに。地盤の低い西区を水害から守るために、重要な役割を果たしています。



焼鮎伝説 ちょっと寄り道

流罪を赦免された親鸞聖人が、別れの酒宴に出された焼いたフナを池に放したところ、生き返り泳ぎ回ったと言われています。また、それから約600年後、親鸞が袈裟をかけたというエノキが台風で折れ、幹が二つに分かれたエノキを切り倒すと、切り口から親鸞の姿とフナの形がくっきりと現れたと言われています。電鉄には、この伝説にちなんだ「焼鮎駅」がありました。現在、「見真大師焼鮎御旧蹟」の石碑があります。



あおぞらギャラリー

善久の株式会社廣瀬の脇にあり住宅地の入り口という風景。黒崎中美術部員のアニメ風の絵や抽象画の力作が並び、学生時代を思い出しつつ目がいきます。その中に混じって故山田慶二さんの電鉄をテーマにした連作24点も優しいまなざしに満ちています。駅舎が生活に溶け込み、待ち時間を過ごしていた売店にノスタルジーを感じます。



あずまや・旧駅名表示

自転車ならあっという間、歩けば1時間余り。ベンチやあずまやで休憩もできるので、散歩やウォーキング、体力づくりのランニングにもぴったり。旧駅名表示もあり、次の駅までの距離が記載されています。今日はどの駅まで歩こうかな。



(取材 広川紀夫)



地域で預かり保育を行うコスモスクラブ



西内野コミュニティ協議会(以下、コミ協)が、新潟市立西幼稚園で運営する預かり保育「コスモスクラブ」。公立幼稚園の降園時間が早いことを課題として、地域住民が預かり保育をスタートしました。コスモスクラブ誕生の歴史について同クラブ実行委員会会長の寺瀬千恵さんからお話を伺いました。

住民の要望で設立した西幼稚園

新潟地震後に宅地化された地域の西内野地区。当時の地域住民は、「幼稚園から大学まで子育てのできる街」を目標として、新潟市に公立幼稚園の招致活動を行ってきました。昭和51年4月、住民の悲願が成就し、新潟市立西幼稚園が開園しました。



開設当初の西幼稚園

地域住民の思いの詰まった同園は、昭和51年から平成28年まで、多くの園児が利用していました。

在籍幼児の減少、住民による預かり保育スタート

平成29年、在籍幼児数の減少などを理由に、半数の市立幼稚園を閉園するとの発表が新潟市からありました。西幼稚園は閉園を免れましたが、在籍幼児数が減っていることは同じことでした。

大切な同園を存続させたいとの思いから、保護者・コミ協・後援会が存続するための課題の洗い出しを始めました。保護者からのアンケート結果の多くは、「仕事や用事があるから降園時間が早いと困る」とのこと。そのことで近場の同園ではなく、少し遠くても遅い時間まで預かってくれる保育園を選んでいることが分かりました。

この現状を打破するために、地域住民は降園後の預かり保育を実施することを決意。同年、コミ協で実行委員会を立ち上げ、降園後預かり保育を行う「コスモスクラブ」が誕生しました。

地域のスタッフが保育をするから安心

コスモスクラブは同園を会場に、午後2時から4時まで希望する幼児の預かり保育を実施しています。

顔の分かる地域のスタッフが保育を行っているので、幼児を預ける保護者から安心の声が聞かれます。「小さな子どもの面倒を見られて、自分の子育てと重なって懐かしいし、癒されます」と地域のスタッフ。

運営するコミ協は、今後も多様化する社会の中で、必要なことを精査しながら、子育て支援を進めていくそうです。



西幼稚園での預かり保育。人数が少なく、ひとりひとりの面倒を見られる

(取材 山岸則子)

コスモスクラブを利用した人の声

- ・預かってもらった子どもの様子を聞きながら、子育ての先輩の話を聞けるのはありがたいです
- ・上の子の学校の用事や下の子の病院などで何度も利用しました。顔の分かる地域の方に見てもらえるのでとても安心
- ・園児は地域の方々と触れ合える機会が増え、人間関係も広がり、成長につながると感じました
- ・コスモスクラブの日に用事が入れられるので、大変助かります
- ・地域のスタッフが優しく、寂しがらうすは全くなく、親子で大満足です
- ・年齢の違う子と過ごす時間を楽しんでいます



知っとなつて 街のタネ

新川を開いた先人たちの息吹、いまも

私財をなげうち新川を開削

西区を流れる新川は、人の手によって掘られた人工の川ということをご存知ですか。

日本列島がユーラシア大陸から分離してできた1万8000年前ころ、新潟平野は海でした。海拔が低いので、豪雨で水があふれます。農民たちは、水田からの排水路を掘らせてほしいと長岡藩や江戸幕府に願い出ましたが、OKは出ませんでした。「仕方がない、俺たちの手で掘ろう」



新川・西川の立体交差。水路橋を流れる西川の下を新川が流れる

伊藤五郎左衛門ら地域の庄屋たちが私財をなげうち、江戸末期の文政年間の1818年に着工、2年後に完成しました。それ以前に流れていた西川の地下に木製のトンネル「底樋」を数本埋め、水を流す難工事。「越後の内野に大プロジェクトが始まっているらしい」と集まってきた人々は延べ200~300万人とも。多様な価値観を持った人々によってつくられたため、たかだか200年の歴史しか持ちませんが「内野は面白いまちだ」と言われています。ただ、川とまちはできましたが、借金のため五郎左衛門家は破産、一家離散となってしまいました。

毎年7月1日に慰霊法要

昭和30年ころまでは、新川が西川の下を潜り抜けるスタイルでしたが、いまは水路橋を流れる西川の下を新川が流れる「川の立体交差」。地元の小学校では3年生になると現地を見学し、新川とまちの歴史を学びます。

立体交差にほど近い高山地区にある蓮久寺には、新川開削に参加した人たちの威徳を顕彰する供養塔があり、毎年7月1日に慰霊法要が行われています。今年も檀家や関係者の子孫ら約30人が参加して法要が行われました。

ことしは、五郎左衛門の子孫の伊藤重行さんが東京から、弟の順一さんも北海道から参加しました。

新川開削で一家離散となった伊藤家のうち、二人のおじいさんの伊藤由太郎さんが大正8年に北海道の根釧原野の奥にある鶴居村で開拓生活に入りました。二人は原生林で生まれ育ち、重行さんは北海道を出て勉学の道に進んで大学教授に。順一さんは牛10頭の牧場からスタートして1,000

頭を育てるメガファームの経営者となっています。

「破産してまで地域のために尽力した先祖を、いまでもこのように盛大に供養してもらえるのはありがたい」と重行さん。

ことしは開削から201年目。水路橋がいわいには、五郎左衛門たちの息吹や人のつながりが残っているのだと感じさせられます。

(取材 古俣慎吾)



蓮久寺にある供養塔。毎年7月1日に慰霊法要が行われる

とっておきの私の一枚



タイトル
にいがた希望の花火

投稿者
内藤一夫 さん

一言コメント
医療関係者の皆さまに感謝です。

募集 しています

○広報紙や自治協議会活動についてのご意見を募集しています。住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙表面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。

○とっておきの私の一枚 ◆あなたの「自慢の写真」(家族・風景・イベント・ペット等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください(電子メール可)。◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募写真は返却しません。◆締め切り9月末日(12月5日号掲載予定)。
◆送付先/ 広報紙表面の「事務局」あて



パソコン・スマートフォンでもご覧になれます!
Web版「西区を豊かに」